

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第9週 （2月26日～3月3日）

★県内での感染症発生状況

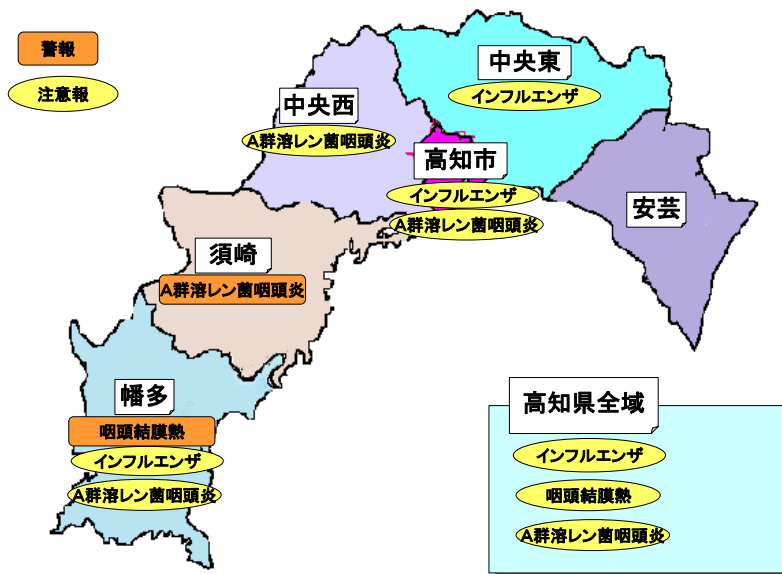
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所別の傾向
インフルエンザ	→	12.55	安芸で急減、中央西で減少していますが、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	5.12	幡多で減少していますが、中央東で急増、須崎、高知市で増加しています。
新型コロナウイルス感染症	↘	4.95	中央西、須崎で急減、高知市、幡多、中央東で減少しています。
感染性胃腸炎	↗	4.50	須崎で急減していますが、幡多で急増、中央東、安芸で増加しています。
咽頭結膜熱	↑	1.15	中央東で減少していますが、幡多、高知市で急増しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

★感染症予防の基本

感染症は、咳やくしゃみの飛沫によって拡散されます。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

《咳エチケット》

- ・くしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- ・咳やくしゃみが出ている時は、できるだけマスクを着けること。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を洗うこと。



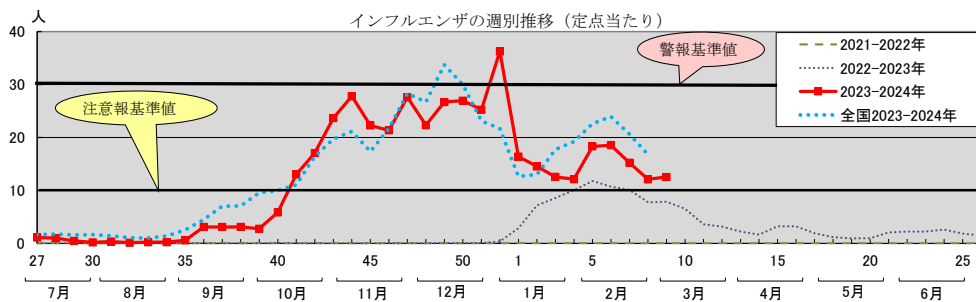
★県内で注目すべき感染症 ～注意点や予防方法～

インフルエンザ

県内では、今シーズンの始まりである第36週（9月4日～10日）に定点当たり報告数が3.11（報告人数：137人）とインフルエンザの流行の目安とされている1.00を超え、第41週から21週連続で注意報値を超えています。

また、学校等で集団発生による学年閉鎖、学級閉鎖が報告されているので注意してください。

全国でも、令和4年第51週（12月19日～25日）に流行期入りした後、1.00を下回ることはなく、20週連続で注意報値を超えています。



学校等における集団発生

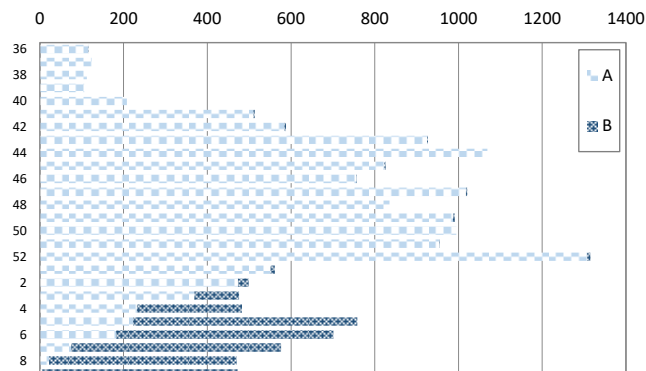
※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第9週	-	-	-	-	-	-	-
	累計	-	3	1	1	4	1	10
学年閉鎖	第9週	-	-	1	-	-	-	1
	累計	16	24	18	18	16	24	116
学級閉鎖	第9週	-	2	8	1	1	-	12
	累計	1	25	166	16	7	9	224

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2024年第5週～第9週）ではBビクトリア系統の検出割合が最も多く61.6%、次いでA(H3)が20.5%、A(H1)pdm09が17.8%と異なる型が検出されています。

今週の県内は、インフルエンザ定点医療機関での迅速診断で、インフルエンザA型が6件（1.3%）、インフルエンザB型が466件（98.7%）検出されており、ほぼB型に置きかわっています。今シーズン、A型に感染したことのある人でもB型に感染することがありますのでご注意ください。

インフルエンザ迅速検査（高知県計）



●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないと規定されています。

新型コロナウイルス感染症

●定点医療機関からの報告数

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第5週 1/29～2/4	677	15.39
第6週 2/5～2/11	464	10.55
第7週 2/12～2/18	440	10.00
第8週 2/19～2/25	341	7.75
第9週 2/26～3/3	218	4.95

・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

●重症者数・入院者数等

	重症者数 (各週末時点)	新規 入院者数	入院患者数 (各週末時点)	検査数
第5週 1/29～2/4	7	85	312	6,885
第6週 2/5～2/11	9	53	222	6,043
第7週 2/12～2/18	8	67	206	5,187
第8週 2/19～2/25	4	67	183	4,576
第9週 2/26～3/3	7	50	141	3,949

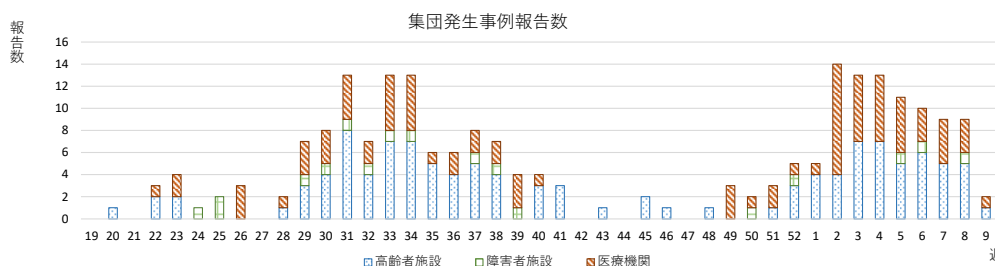
・「検査数」は、外来対応医療機関で実施したPCR及び抗原検査数です。

・3月6日13時時点で集計していますので、国の公表数と異なる場合があります。

・掲載数は、遅れて報告されたり修正されたりする場合がありますため、暫定値となっています。

●集団発生事例報告数（施設種別）

	高齢者施設	障害者施設	医療機関	計
第5週 1/29～2/4	5	1	5	11
第6週 2/5～2/11	6	1	3	10
第7週 2/12～2/18	5	0	4	9
第8週 2/19～2/25	5	1	3	9
第9週 2/26～3/3	1	0	1	2



・データは報告数集計として公開するものであり、後日修正される場合があります。

・集団発生とは、施設等から福祉保健所等に集団発生の報告があった場合（10名以上または全利用者の半

数以上発生した場合)です。

●新型コロナウイルス変異株情報

病原体定点医療機関から提出された陽性検体のゲノム解析結果です。

検体受付		オミクロン株									
月	週	BA.2系統群									
		BA.2系統			XBB系統						
		BA.2	JN.1	計	EG.1	EG.5	FL.10	GK.1	HK.3	XBB.1	計
10	40			0		2				2	4
10	41			0		1	1				2
10	42			0					1		1
10	43	1		1		2					2
11	44	1		1		1					1
11	45	1		1	1						1
11	46			0							0
11	47	1		1							0
11	48	3		3							0
12	49	9		9					1		1
12	50	2		2							0
12	51	1		1							0
12	52		1	1							0
1	1	1	1	2		1					1
1	2	11		11					2	1	3
1	3	6		6		1			1	1	3
1	4	7	1	8					2		2
2	5	7		7					1		1
2	6	7		7		1					1
2	7	11		11				1			1
2	8	6		6							0
2	9			0							0

【参考】感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルスの変異株について第27報（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2551-cepr/12000-sars-cov-2-27.html>

SARS-CoV-2変異株について（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2624-flu/12055-flu2-1-1.html>

●予防方法

*手洗い・消毒は感染予防に特に有効です。

*密閉・密集・密接の回避と家やオフィスなどの換気を十分にしましょう。

*医療機関受診時や混雑した電車やバスに乗車する時など、効果的な場面でのマスク着用をお願いします。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

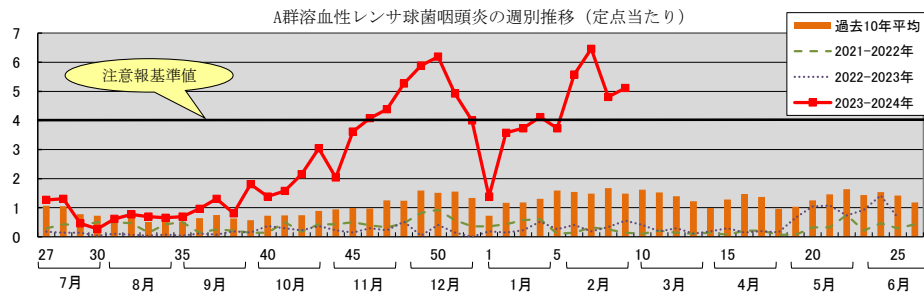
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

この病気は、A 群連鎖球菌による上気道感染症です。

県内では、過去 10 年間の同時期と比較してかなり多い報告数となっています。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。

典型的な症状は、2～5日の潜伏期を経て、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



●予防方法

*患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

●学校感染症

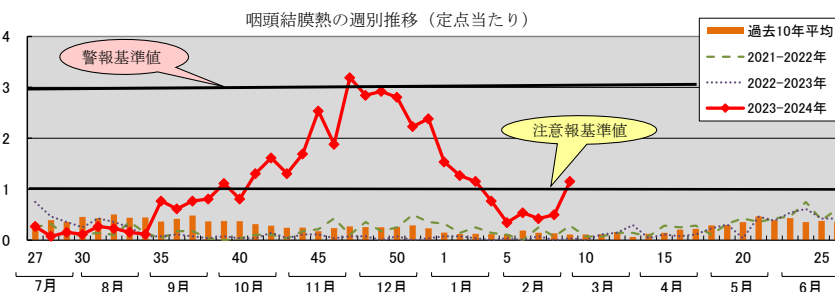
学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、校長が第3種の感染症として緊急的に措置を取ることができる感染症となっています。

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は発熱・咽頭炎及び結膜炎を主症状とするアデノウイルスによる急性の感染症です。

過去10年の同時期と比較してかなり多い報告数となっています。また、定点医療機関からのホット情報でもアデノウイルスを原因とする感染症の報告が多いので注意が必要です。

潜伏期は5～7日で、症状は発熱、咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）、結膜炎が三大主症状です。プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。



●予防方法

*手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。

*タオル・コップ等の共用、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。

*回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後の手洗いを徹底しましょう。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「主要症状が消失した後2日を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

ヒトメタニューモウイルス感染症 (hMPV)

この病気は、乳児や高齢者に上気道炎や下気道炎を起こす呼吸器感染症です。潜伏期間は3～5日、感染経路は飛沫感染と接触感染と考えられています。

流行時期には高齢者施設等での集団発生も散見されていますので注意してください。有効なワクチンが無く、呼吸困難や脱水などの症状に応じた対症療法が中心となります。

感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用、接触感染対策が大切です。

定点医療機関からのホット情報では、hMPVによる感染症が安芸1例、中央東5例、高知市12例、中央西1例、須崎3例、幡多10例と県全域で報告されています。

<予防方法>

- ・咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱)

今年初めて幡多から「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」の発生届がありました。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、ネコやイヌなどの動物がSFTSウイルスに感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。

ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

●予防方法

- *マダニやツツガムシに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- *野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
- *ツツガムシには、虫除け剤（有効成分：ディート）も有効です。
- *飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- *体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

- *野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- *受診の際は、発症前に野山に立ち立ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

- *重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- *高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	9	60歳代 男性	安 芸
4類	重症熱性血小板減少症候群	1	1	80歳代 男性	幡 多
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	70歳代 男性	高知市
	梅 毒	1	6	20歳代 男性	

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
9	不明発疹症	発疹	11	男	須崎	Human herpes virus 7
9	新型コロナウイルス感染症	39℃	2	男	須崎	SARS-CoV-2(解析不能)
9	新型コロナウイルス感染症	上気道炎	44	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
9	新型コロナウイルス感染症	-	75	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
9	新型コロナウイルス感染症	-	93	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
9	新型コロナウイルス感染症	-	71	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
9	新型コロナウイルス感染症	37℃	2	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
9	新型コロナウイルス感染症	-	65	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
7	新型コロナウイルス感染症	-	91	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
7	新型コロナウイルス感染症	上気道炎	41	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
7	新型コロナウイルス感染症		1	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
7	新型コロナウイルス感染症		30	男	幡多	SARS-CoV-2(解析不能)
7	新型コロナウイルス感染症	-	73	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
7	新型コロナウイルス感染症	-	81	男	幡多	SARS-CoV-2(解析不能)
8	インフルエンザ,A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39℃,嘔吐,咳嗽,鼻汁	11	女	須崎	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症		86	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症		94	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症		82	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症		39	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症	上気道炎	44	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症	上気道炎	40	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症	上気道炎	47	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症		25	男	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)
8	新型コロナウイルス感染症		81	女	幡多	SARS-CoV-2(BA.2)

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安芸	田野病院小児科	hMPV 感染症 1 例
中央東	早明浦病院小児科	hMPV 感染症 3 例 (11 か月女、3 歳女 2 人) 溶連菌感染症 4 例 (4 歳女、8 歳男 3 人) インフルエンザ B 型 1 例 COVID-19 1 例
	JA 高知病院小児科	手足口病 1 例 COVID-19 4 例 hMPV 2 例 アデノウイルス 1 例 インフルエンザ 51 例 (内みなし陽性 7 例)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ B 型 4 例 (8 歳男、9 歳女、10 歳男、13 歳女: 全てワクチン未接種)
高知市	けら小児科・アレルギー科	hMPV 気管支炎 12 例 (1 歳 2 人、2 歳 6 人、4 歳 2 人、5 歳 2 人) 溶連菌感染症 13 例 インフルエンザ A 型 2 例 B 型 51 例 COVID-19 8 例 カンピロバクター腸炎 1 例 (6 歳) ノロウイルス胃腸炎 9 例
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ+溶連菌感染症合併 3 例 (6 歳女、8 歳男女) インフルエンザ B 型 28 例 溶連菌感染症 17 例 COVID-19 8 例
	ふないキッズクリニック	アデノウイルス咽頭炎 2 例 (1 歳男、7 歳女) ノロウイルス胃腸炎 3 例 (1 歳男、6 歳男女)
	細木病院小児科	インフルエンザ A 型 3 例 B 型 32 例 溶連菌感染症 17 例 COVID-19 3 例
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ B 型 7 例 (内 1 例は臨床診断) COVID-19 7 例 溶連菌感染症 5 例 hMPV 1 例

保健所	医療機関	情報
須崎	もりはた小児科	インフルエンザB型のみ 19 例 hMPV 感染 3 例（1 歳 2 人、3 歳） 溶連菌感染症 26 例と流行継続 カンピロバクター腸炎 2 例 大腸菌 0-6 腸炎 1 例
幡多	こいけクリニック	アデノウイルス扁桃炎 19 例 （2 歳女 4 人、3 歳男 2 人、3 歳女 6 人、4 歳男 2 人、4 歳女、5 歳男女、9 歳女、33 歳女：内 1 例咽頭所見、発熱なし）
	さたけ小児科	インフルエンザ B 型 49 例 溶連菌 17 例 hMPV 5 例 アデノウイルス 5 例 COVID-19 1 例
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 5 例（4 か月男、11 か月男、3 歳男 2 人、4 歳男）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階
TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2024 年 3 月 4 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第9週 令和6年2月26日(月)～令和6年3月3日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	高知県						計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計)		全国(8週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R6/1/1～R6/3/3	R6/1/1～R6/2/25		
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	1	141	212	24	36	138	552 (12.55)	532 (12.09)	82,741 (16.76)	5,824 (132.36)	722,424 (146.77)		
	新型コロナウイルス感染症	14	36	82	28	18	40	218 (4.95)	341 (7.75)	39,124 (7.92)	4,163 (94.61)	448,325 (91.09)		
小児科 (26)	咽頭結核熱		1	7			22	30 (1.15)	13 (0.50)	2,640 (0.84)	200 (7.69)	29,365 (9.40)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	12	55	8	27	28	133 (5.12)	125 (4.81)	11,561 (3.69)	1,001 (38.50)	93,315 (29.86)		
	感染性胃腸炎	5	20	65	1	4	22	117 (4.50)	87 (3.35)	17,106 (5.46)	913 (35.12)	153,127 (49.00)		
	水痘			1				1 (0.04)	1 (0.04)	399 (0.13)	17 (0.65)	3,409 (1.09)		
	手足口病		1	3			1	5 (0.19)	4 (0.15)	591 (0.19)	34 (1.31)	4,409 (1.41)		
	伝染性紅斑							()	()	55 (0.02)	4 (0.15)	436 (0.14)		
	突発性発疹	1	1				2	4 (0.15)	5 (0.19)	591 (0.19)	39 (1.50)	4,681 (1.50)		
	ヘルパンギーナ						2	2 (0.08)	5 (0.19)	93 (0.03)	21 (0.81)	620 (0.20)		
	流行性耳下腺炎							()	()	88 (0.03)	2 (0.08)	663 (0.21)		
	RSウイルス感染症							()	()	658 (0.21)	2 (0.08)	2,864 (0.92)		
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	4 (0.01)	()	53 (0.08)		
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	()	293 (0.42)	6 (2.00)	3,306 (4.77)		
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							()	()	5 (0.01)	1 (0.13)	46 (0.10)		
	無菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	()	68 (0.14)		
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.13)	()	26 (0.05)	6 (0.75)	268 (0.56)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	4 (0.01)		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	2 ()	3 (0.38)	45 (0.09)		
計 (小児科定点当たり人数)	24 (8.25)	212 (23.54)	427 (35.55)	61 (17.50)	85 (29.00)	255 (37.65)	1,064 (28.73)			155,985	12,236 (312.86)	1,467,428		
前週 (小児科定点当たり人数)	25 (8.25)	168 (17.93)	456 (37.05)	119 (32.25)	100 (31.75)	245 (35.51)		1,113 (29.07)						

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

第9週

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計)	全国(8週末累計)
											R6/1/1～R6/3/3	R6/1/1～R6/2/25
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	0.25	14.10	15.14	6.00	9.00	17.25	12.55	12.09	16.76	132.36	146.77
	新型コロナウイルス感染症	3.50	3.60	5.86	7.00	4.50	5.00	4.95	7.75	7.92	94.61	91.09
小児科 (26)	咽頭結核熱		0.17	0.78			4.40	1.15	0.50	0.84	7.69	9.40
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	2.00	6.11	4.00	13.50	5.60	5.12	4.81	3.69	38.50	29.86
	感染性胃腸炎	2.50	3.33	7.22	0.50	2.00	4.40	4.50	3.35	5.46	35.12	49.00
	水痘			0.11				0.04	0.04	0.13	0.65	1.09
	手足口病		0.17	0.33			0.20	0.19	0.15	0.19	1.31	1.41
	伝染性紅斑									0.02	0.15	0.14
	突発性発疹	0.50	0.17				0.40	0.15	0.19	0.19	1.50	1.50
	ヘルパンギーナ						0.40	0.08	0.19	0.03	0.81	0.20
	流行性耳下腺炎									0.03	0.08	0.21
	RSウイルス感染症									0.21	0.08	0.92
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.01		0.08
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.42	2.00	4.77
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.01	0.13	0.10
	無菌性髄膜炎									0.02		0.14
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13		0.05	0.75	0.56
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.01
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										0.38	0.09
計 (小児科定点当たり人数)	8.25	23.54	35.55	17.50	29.00	37.65	28.73			312.86		
前週 (小児科定点当たり人数)	8.25	17.93	37.05	32.25	31.75	35.51		29.07				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第9週)

